

「親子deリサイクル探検」

「陶磁器・ガラス」のリサイクル工場を見学しました

(表紙写真)

12 つくる責任
つかう責任



日進市環境基本計画

年次報告書<やわらか版>

令和元年度

(平成30年度実績)

「2024年のこどもたちへ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇…

人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面している。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言われていた。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てた。それが「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」である。

日本ユニセフ協会『私たちが作る持続可能な世界』より

目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14

市民意識調査から見た目標に対する達成状況..... 16

ハイライト

市の取り組みを紹介します

環境基本計画について

2024年(H35年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフスタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いているだけでも、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

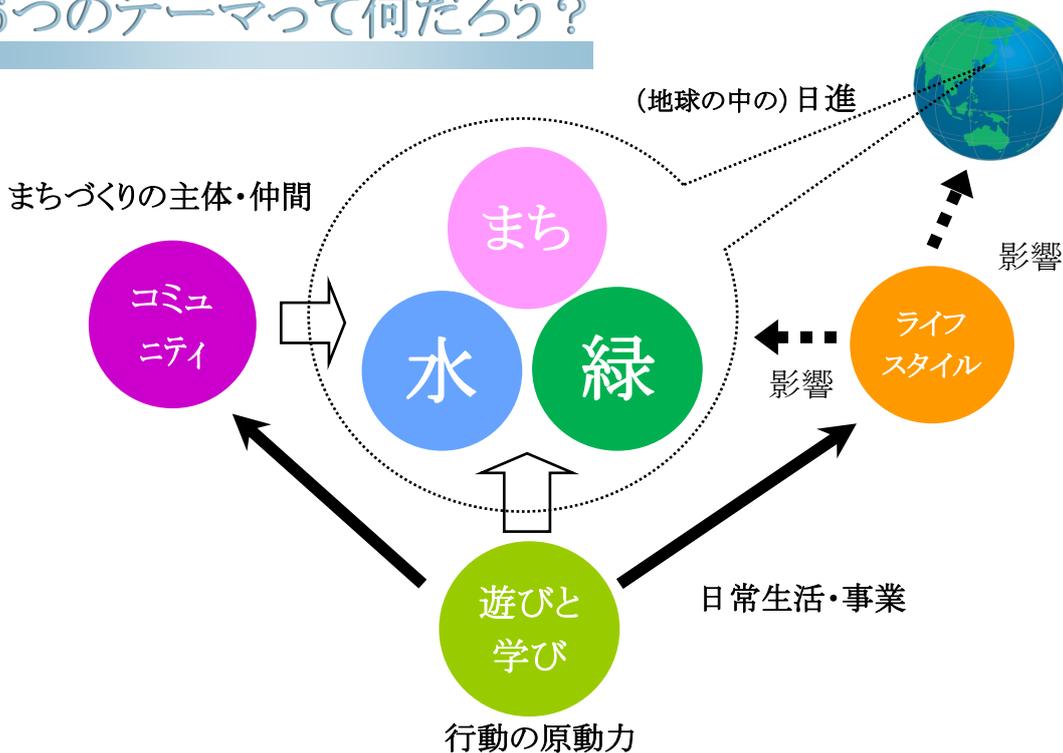


遊びと学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



今は、計画のどのあたり？

環境基本計画は、計画期間の中で短期目標(5年間)と長期目標(10年間)を立てて進めています。今回は短期目標の設定年度である平成30年度の実績報告です。

▼短期目標設定年度を終えて…

今回の報告で短期目標(5年間)の取り組みを終えました。その時点で短期目標を達成した成果指標(市民意識)は、12項目のうち1項目、進行管理指標は、49項目のうち16項目となっています。項目別に見ると、毎年実績を積み重ねている指標では徐々に数値が向上し、短期目標を達成しているものが多い一方で、その年度の達成率で見ると、悪化したり向上したりというように横ばいになっているものもあります。分野別に見ると「コミュニティ」や「遊びと学び」の分野における進行管理指標が向上している一方で、「ライフスタイル」分野では満足度が下がるといった成果指標もみられました。

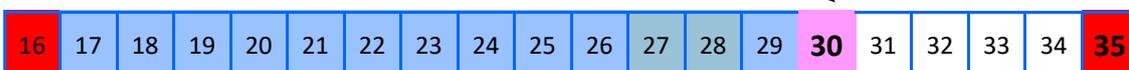
▼長期目標達成に向けて…

今後は、長期目標のゴールである令和5年度(平成35年度)に向けて取り組みを進めていきます。短期目標の取り組みを終えた時点で達成している項目については引き続き維持するよう取り組みます。一方で達成されていない項目の中でも、年々指標が良くなってきている項目もあります。長期目標取り組み期間終了(5年後)時点でより多くの項目が目標を達成できるよう、より一層取り組みを強めていく必要があります。

START

現在はココ！

GOAL



2004.4 (H16年度)

2019.3 (H30年度)

2024.3 (H35年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画。

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る、「自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう！」という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との共働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し(平成25年度)では、ESD(※P14参照)の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 海の豊かさを
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



水生生物調査

毎年8月の第1木曜日に行われる、環境課と愛知中央ライオンズクラブとの共催イベントです。

H30年度は、109名の参加があり、延べ参加者数は980名となりました。

参加者は網やバケツを持って川に入り、天白川に住む様々な生物を採集します。採集が終わると、どんな生物がいたのか、講師の説明を聞きながら数を記録します。発見した生物の種類や数から、川の水質がだまかに判別できます。

水生生物調査の記録は、毎年環境課が取りまとめて愛知県に報告しています。

水について

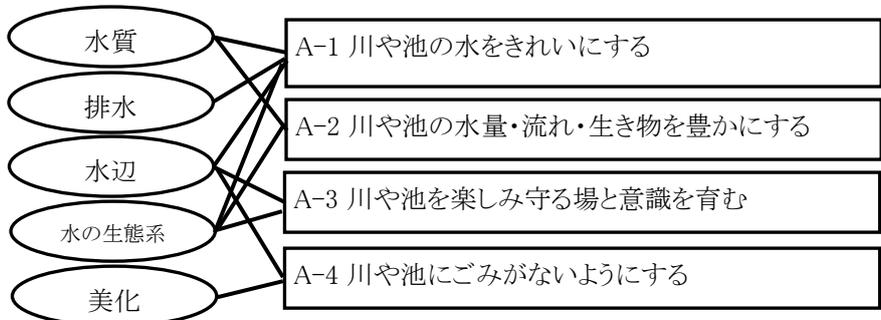
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になっている水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならないものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たちの生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の調査を行うことで川の現状を知り、川がきれいになるにはどうすればよいかを考えていきます。また、市民の憩いの場として、「ふるさと日進」の大切な要素としてまちづくりに活かしていきます。

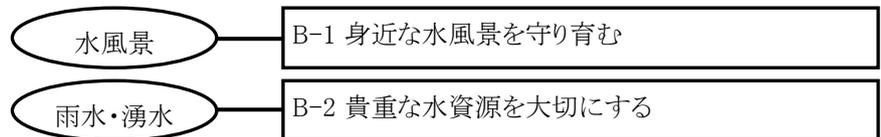


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(H30年度の取り組み<抜粋>)

日進市を源流とする天白川のことを詳しく知るため、「天白川おもしろ体バスツアー」が生物多様性日進市民協議会の企画により開催されました。上流編・中流編・下流編と3回に分けて実施し、上流編では実際に天白川に入り、生き物集めをしました。中流域編では「なごや生物多様性センター」を見学しました。大人から子どもまで、参加者は天白川の生物多様性について学びました。下流編では、実際に名古屋港の河口部分まで行き、日進から流れる水が海まで辿り着く様子を見学しました。



河川の水質

環境課では河川の水質を把握するため、市内10地点で2ヶ月に1回水質検査を行っています。

平成30年度平均値は、環境基準(河川)と比較し、適合しています。

詳しい結果については、市ホームページに掲載しております。

[環境課環境保全係]

TEL:0561-73-2843

「BOD」

水の汚れが微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のことです。

この数字が大きいほど、河川が汚れていることを意味します。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	→	3.1	5以下
	生活排水処理率	%	83	↑	90.5	88
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	0	→	0	1
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	↑	980	1,200
A4	河川愛護団体数	団体	10	→	10	13
B1	ため池の数	箇所	44	↓	39	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	↑	224	221 (5%減)
B2	浄化槽転用延べ補助数	世帯	75	↑	77	93

※平成24年度実績を「計画見直し後の基準数値」とし、それと平成30年度実績を比べた際の、目標に向かっての進み具合を「傾向」で示しています。
また、目標に達しているものは「★」であらわしています。

緑

15 陸の豊かさも
守ろう



ハルリンドウ

大清水湿地

日進市総合運動公園を造成した際に見つかった湿地で、斜面から湧き出る湧水によって東海地方に多い斜面状湧水湿地となっています。湿地内では、ハルリンドウ、カキラン、ノギラン、コバノトボソウなどの湿地性植物が確認されており、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチなど湿地の昆虫も生息しています。

毎年、4月に湿地の公開を行いますので、是非ご覧ください。

詳しくは都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

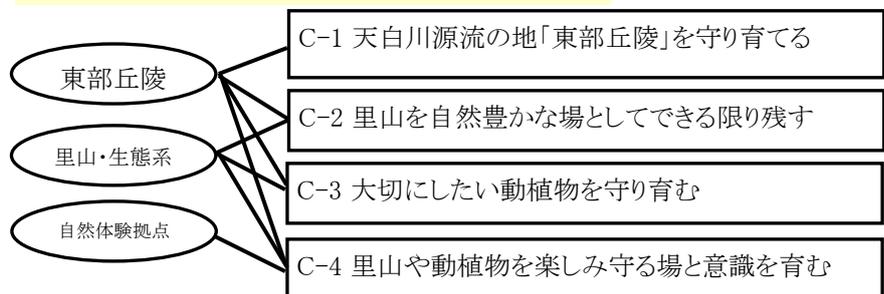
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうことになります。

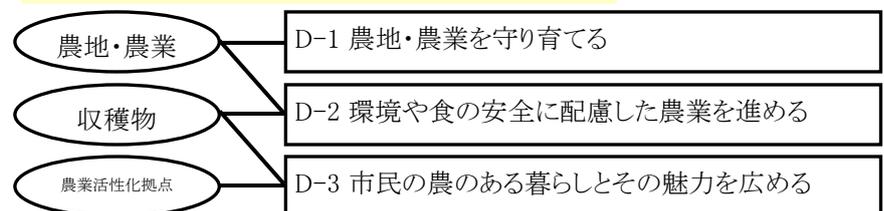
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

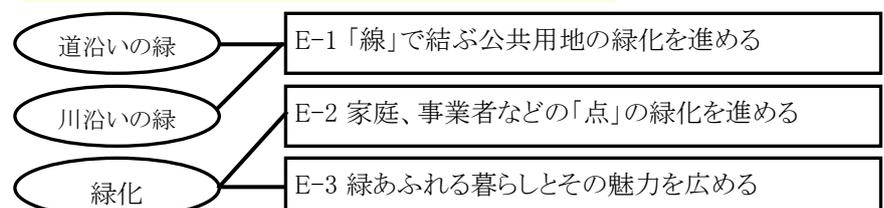
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(H30年度の取り組み＜抜粋＞)

私たちの周りには多くの「里山」があることをご存知ですか？昔から人の手が入り、生活に密着した里山は身近な存在でした。近年生活様式が変わり、人々が里山から離れ、里山の環境が悪くなってきています。里山で暮らす生物たちにも影響が出ているのです。

日進市の北高上緑地では、平成20年度から里山の整備工事を行いました。現在の整備された北高上緑地では、季節ごとに里山体験イベントが開催されています。4月上旬に開催されたコバノミツバツツジまつりでは、緑地がピンク色に染まる中、コンサートが開催され、来園者に楽しんでいただきました。11月には秋の樹木観察ツアー、2月にはシイタケ栽培体験が行われるなど、季節による変化を活かしたイベントが計画され、幅広い年齢層の参加者が里山と触れ合いました。

他にも、里山保全活動に興味のある方を対象とした、里山保全実践講座を開催しました。参加者は、全3回の座学と実践を通して、里山の整備方法や里山の生物について学びました。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】
C1	森林面積※	ha	654	↓	631	619以上維持
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	→	6	8
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	→	9	10
C4	日進自然歩道延長	km	5	↑	6.8	15
D1	農地面積	ha	470	↓	454	465以上維持
	休耕田の面積	ha	56	↑	41.9	49
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	↓	47.9	59
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	↑	1,303	2,000
E1	緑地率	%	41	→	41	40 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	↑	61	78
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	↑	15	28

※森林面積は、赤池箕ノ手土地区画整理や市内各所で行われる開発事業で減少しているものの、目標値は維持しています。

平成日進の森林(もり)

平成5年、友好自治体提携を契機に、木祖村の味噌川ダム(奥木曾湖)を見下ろす国有林約32haで、森林資源の培養と市民の自然体験の場の確保を目的とした、「分収造林地平成日進の森林設定に関する協定」を日進市、木祖村、営林署、木曾森林組合の4者で結びました。また、同森林は「平成日進の森林(もり)」と名付けられ、現在までにヒノキ約95,000本が植栽され、木曾川上流の水源を守るとともに、村民との交流も深めています。

[産業振興課 農政振興係]

TEL:0561-73-2197



森林の様子

まち

15 陸の豊かさも
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



くるりんばす

くるりんばすは、日進市の生活交通手段として運行しており、その利用者の約半数が65歳以上の高齢者です。また、通勤や、学生の通学にもご利用いただいています。

平成31年3月上旬から、市内出身の人気声優「石田彰さん」による、くるりんばす車内音声案内を実施しております。音声案内は、主に市内のみどころスポットを紹介したものです。取り上げるスポットの選定や読み原稿素案の作成は、名古屋外国語大学の山本ゼミの学生さんたちにご協力いただきました。

石田彰(いしだ あきら)さん

出演作品

「新世紀エヴァンゲリオン」渚カヲル役、「キャプテン翼」松山光役 ほか多数

詳しくは生活安全課までお問い合わせください。

[生活安全課 交通対策係]

TEL:0561-73-3249

まちについて

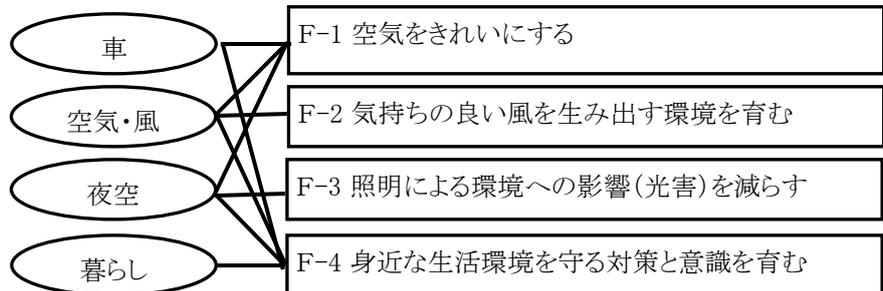
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

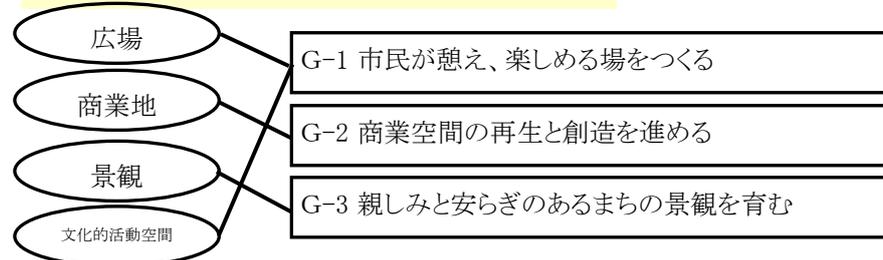
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

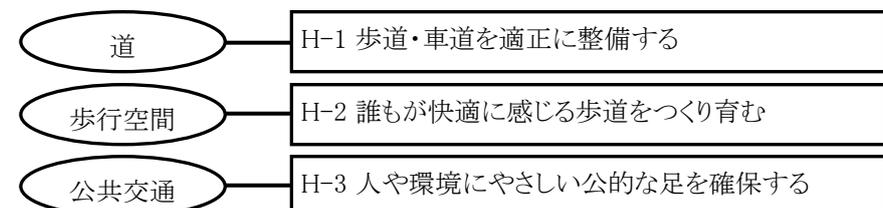
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど



◆ H. みちと足



何をしたの？(H30年度の取り組み＜抜粋＞)

住環境における猫の糞尿等の被害を軽減し、良好な生活環境を保全するため、平成30年度から試用として猫侵入防止装置の貸し出しを始めました。居住敷地内で猫の糞尿等の被害によりお困りの方から、市へ対策方法の相談が多く寄せられたことが一因でもあります。実施に借りた人からの意見として、猫侵入防止装置の効果があつたと答えた方が多くいました。

また、生活の中で緑を増やす工夫として、平成22年度から「緑のカーテンコンテスト」を開催しています。コンテストで選ばれた作品は、平成29年度から、「にっしん市民まつり」内にて表彰しています。9年目を迎えたコンテストには、延べ51件の応募があり、夏を快適に過ごす工夫として取り組まれています。身近な緑に触れ合える機会を創出し、豊かな森と緑を守る心と活動を育みながら、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和を目指します。



猫の飼い方講座

平成29年から猫の飼い方講座を開催しています。猫の適正飼育について、避妊・去勢手術の有用性や野良猫を減らすための活動について紹介しています。これまで犬の飼い方講座は開催されていましたが、猫の飼い方についても理解が得られることが目的です。詳しくは環境課までお問い合わせください。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	→	100	100
	エコドライブ宣言者数	人	0	↑	774	1,500
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	↑	52.0	80
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	↑	970	1,200
F3	光害苦情処理件数	件	0	→	0	0
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	↑	75	119
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	↓	8.7	10
G2	事業所数(商店数)	件	2,383 (商店493)	↓	2,104 (商店396)	2,300以上 維持
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	→	0	1
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	↑	79.9	82
H2	道路緑化面積	m ²	24,780	↑	26,585	25,000
H3	くるりんばすの一日あたり利用者数	人	1,404	↓	887	1,500

※大気汚染に係る環境基準適合率は、折戸町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

ライフスタイル

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



クールシェア・ウォームシェア

地球温暖化の取組みは、温室効果ガスの排出量が増加傾向である家庭部門での対策が大切になってきています。そこで、「COOL CHOICE」行動(地球に優しい賢い選択)の手助けとしていただくため、クールシェア・ウォームシェアを実施しています。クールシェア・ウォームシェアとは、暑い日、寒い日に家の電気使用量の半分以上を占めるエアコンの使用をやめ、涼しい場所、暖かい場所をみんなまでシェアすることです。市内の公共施設、協力店舗、プラットフォーム・ほっとカフェで実施しています。

家庭での電気使用量を削減しながらまちの活性化につなげていけるといいですね。

地球温暖化対策のために、今できる取り組みを生活に取り入れていきましょう！

[日進市役所 環境課 環境政策・ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

ライフスタイルについて

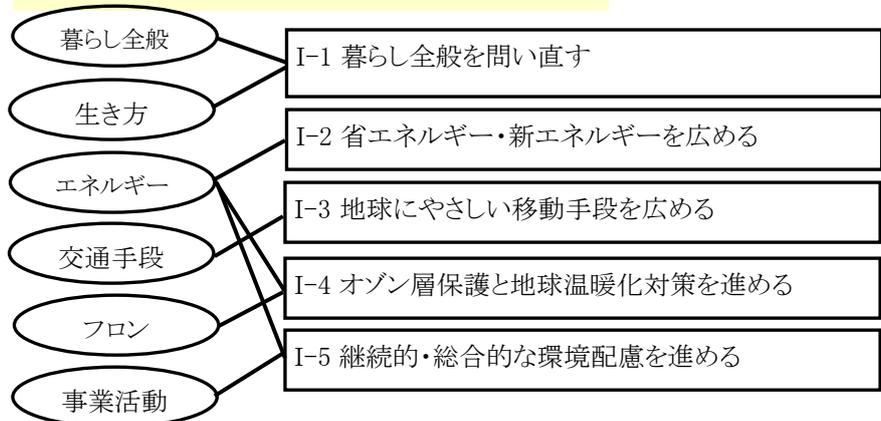
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報を発信しています。

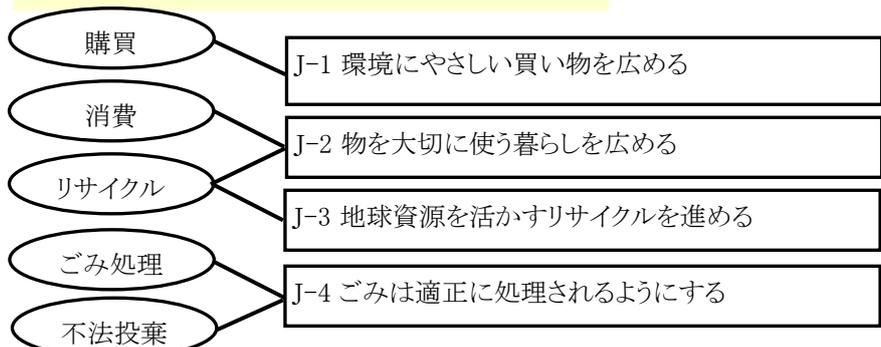
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物

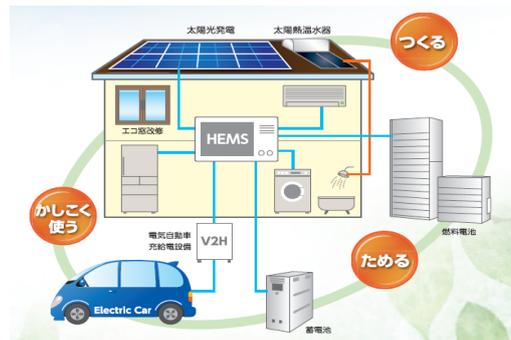


何をしたの？(H30年度の取り組み<抜粋>)

私たちの暮らしを支えているエネルギーは石油や石炭など化石燃料が中心です。日本は、エネルギーの94%を海外からの輸入に頼っており、その自給率の向上が課題となっています。自然のチカラをエネルギーに変える「再生可能エネルギー」の中で私たちの暮らしに一番身近な太陽光発電システムは、平成12年度から設置補助を始めました。今では、省エネ機器(HEMS・エコ窓改修)、創エネ機器(太陽熱利用システム、エネファーム)、蓄エネ機器(蓄電池、電気自動車充電設備)などを補助対象機器に増やし、地球温暖化対策機器設置補助の件数は、計2,304世帯になります。温室効果ガスの排出削減に資する「賢い選択」であるCOOL CHOICEを中心としたエコライフの普及を進めています。

<H30年度補助実績>

太陽光発電システム	115件
太陽熱利用システム	1件
エネファーム	58件
蓄電池	37件
HEMS	40件
電気自動車充電設備	0件
エコ窓改修	6件



フードドライブ

ごみ減量の観点から「食品ロス」をなくす取り組みを推進しています。賞味期限が近くなった食品をお持ちいただき、フードバンク(セカンドハーベスト名古屋)を通じて地域の福祉団体や施設など必要としている人たちに届けます。平成30年度は、7月と11月の年2回実施しました。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[日進市役所 環境課 ごみ減量推進係]

TEL:0561-73-2883



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】
I1	エコライフ宣言者数	人	0	↑	1,432	1,500
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	↑	8.7	18
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	↑	数字は年末頃	46,000
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	55	↑	70.1	100
I5	ISO取得事業者数	社	21	↑	22	23
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	→	79	向上
J2	フリーマーケット開催数	回	1	↓	0	3
J3	リサイクル率	%	27.2	↑	31.2	28.0
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	↑	848	820
	不法投棄量	t	43	↑	27	22



コミュニティ

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナースHIPで目標を達成しよう



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点ならびに、国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆さんが交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんばす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、月曜日から土曜日のお昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、男女平等推進情報コーナーでの関連図書の見学や貸し出しも行っていきます。

詳しくは、にぎわい交流館までお問い合わせください。

[にぎわい交流館]

TEL: 0561-75-6650

コミュニティについて

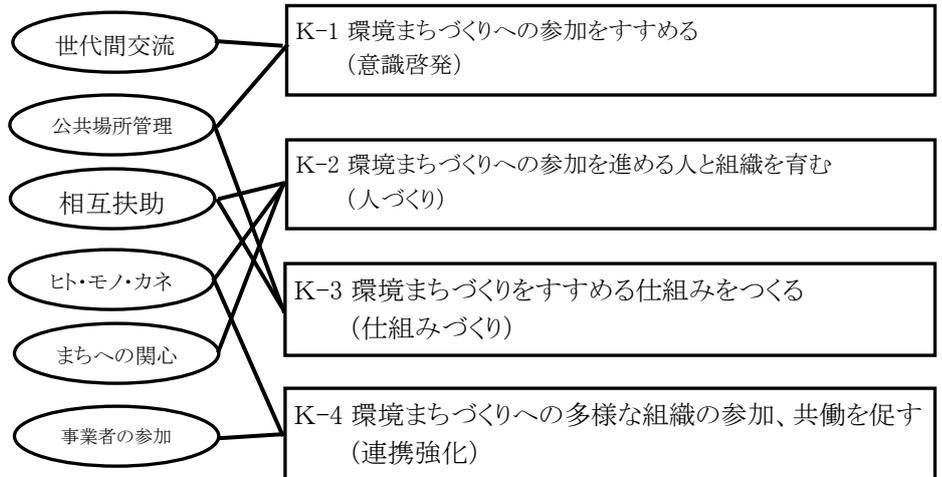
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？(H30年度の取り組み＜抜粋＞)

持続可能な地域社会を目指し、市民や市民団体、企業と行政が皆で作り上げる仕組みとして「にっしん環境まちづくりサポーターズ制度」が平成28年度から始まっています。市民や団体の皆さんに会員になっていただき、いろいろなエコ活動に参加していただくことによって、にっしんの環境まちづくりを進め、持続可能な社会の実現を目指して作られました。

この制度は、環境課が進めるESD(持続可能な開発のための教育)の活動支援も伴っており、ESD環境講座、市の環境イベントに参加、緑のカーテンコンテストへ参加、地球温暖化対策機器補助金申請など、環境まちづくり活動が期待できる事業へ参加した市民の方にポイントを交付しています。また、他の部署とのコラボで、北高上緑地見学会やオープンガーデン事業などへの参加でも環境まちづくり活動に含まれポイントを交付しています。

平成30年度末までに延べ1,859人の方に登録いただき、抽選会は30社の企業から協賛いただきました。年2回の抽選会には約1,250人の方に参加いただき、これからの活動の励みにしていただきました。楽しみながらエコ活動に取り組んでいただきながら、人と人がつながる、新しいコミュニティのカタチを作り出そうとしています。



環境まちづくりサポーターズ事業 ～ポイント制度について～

ESD環境講座、市の環境イベントに参加、地球温暖化対策機器の設置など、環境まちづくり活動が期待できる事業への参加などを通じて、市が市民や企業の方々と一緒に持続可能な社会を実現するためにまちづくりを推進する事業です。

市民の方が、環境まちづくり活動を始めるきっかけづくり及び継続させるためにポイントを交付し、ポイントを集めることで景品の当たる抽選会に参加することができます。また、企業はにっしんまちづくりパートナーシップ団体として登録し、抽選の景品などの支援をしていただくことで、事業推進のご協力をいただいています。

抽選会には、平成30年度は、7月と12月の年2回実施しました。抽選会への参加は、サポーターズ会員登録が必要で、メール登録者には、環境に関する情報などメールマガジンを受け取れます。

詳しくは、下記へお問い合わせください。

[日進市役所 環境課 環境政策・ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】
K1	区・自治会加入率	%	71.1	↑	74.1	75
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	↑	42,999	39,100
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	団体	0 (-)	↑	0 (39)	8
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	↑	27	17

※「環境パートナーシップ協定締結団体」については0となっていますが、市の方針としては環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び

4 質の高い教育を
みんなに



ESD
AICHI-NAGOYA

ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

近年、地域の課題は多様な問題が複雑に絡み合っており、少数のみ、単一分野のみの取り組みでは、解決が難しいのが実情です。

そこで、「様々な分野の多くの方々がつながり、結びつき、一緒に考え、取り組むこと」が「課題解決への鍵」となります。

ESDとは、このように多様な人々が地域等のさまざまな課題に気づき、社会のあり方そのものを変えていく人材を育てるための学習・教育です。

遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にっしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と共働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。



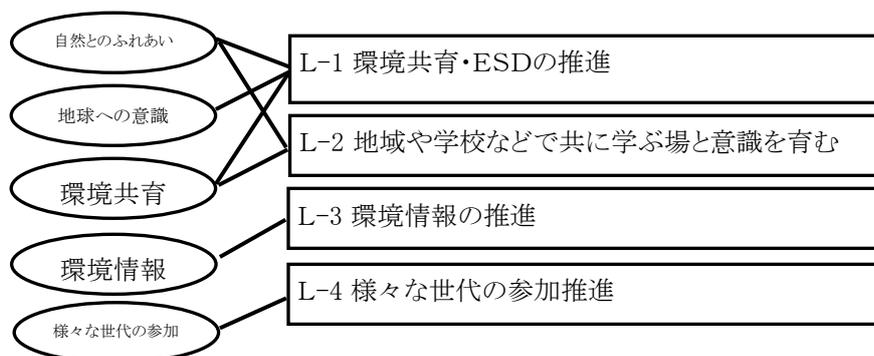
(写真左: にっしんESD講座「体験！ 藍の葉っぱでステンシルを楽しもう！」より)



(写真右: にっしんESD講座「企業と連携した地球温暖化を学ぶ科学実験教室」より)

何をするの？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(H30年度の取り組み＜抜粋＞)

「ESD(持続可能な開発のための教育)」の祭典として、平成30年7月に「にっしんわいわいフェスティバル」が市民会館・スポーツセンターで開催されました。日進市で活躍する166の市民団体が参加し、約4,300人が来場しました。各ブースではSDGsのアイコンを掲示し、出展者から来場した方々に「自然環境」「平和」「人権」「防犯」「男女平等」などの取り組みが紹介されました。市内大学の多くの学生も出展者側で参加し、出展者から来場者だけではなく、出展者から出展者へもESDの意思が伝わる場となりました。



にっしんESD講座

にっしんESD講座とは、本市が日進市環境基本計画に基づいて実施している、ESDの視点を取り入れた講座です。

また、ESDの視点とは、体験型の講座を通して地域や世界の課題を自分のこととして捉えてもらい、持続可能な社会作りを目指すものです。

「水」「緑」「まち」「ライフスタイル」「コミュニティ」「遊びと学び」の6分野に関する企画を広く公募し、審査を経て企画提案団体と委託契約を結び、実施は企画提案団体、周知募集等は市が協働して実施しています。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[日進市役所 環境課 環境政策・ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

どうなったの？

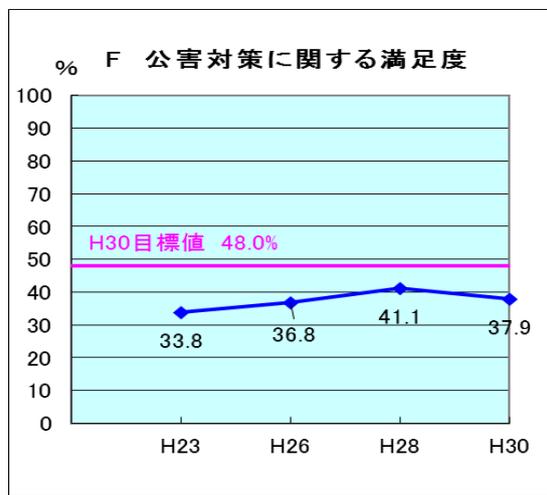
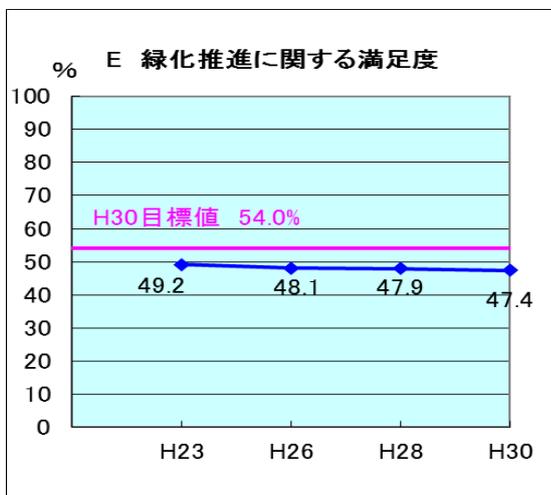
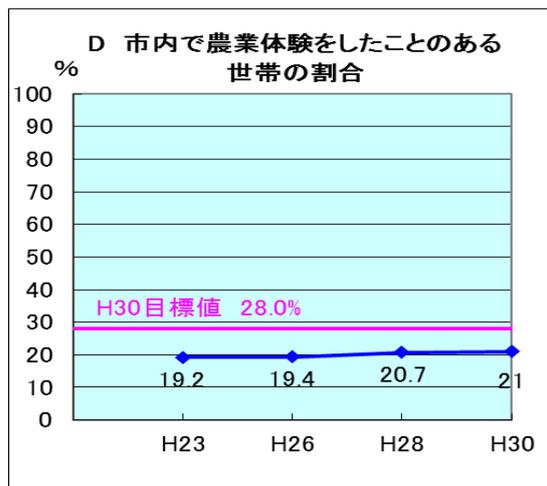
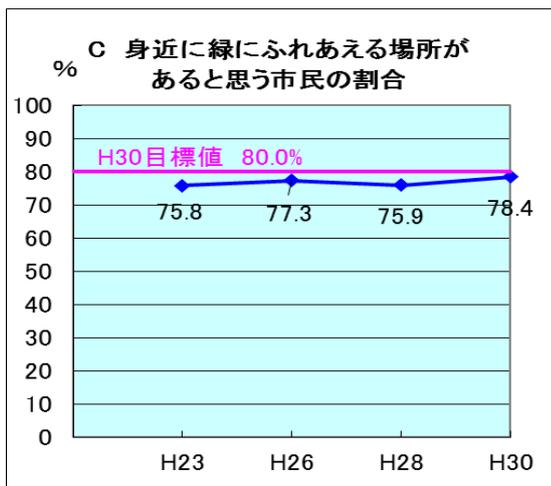
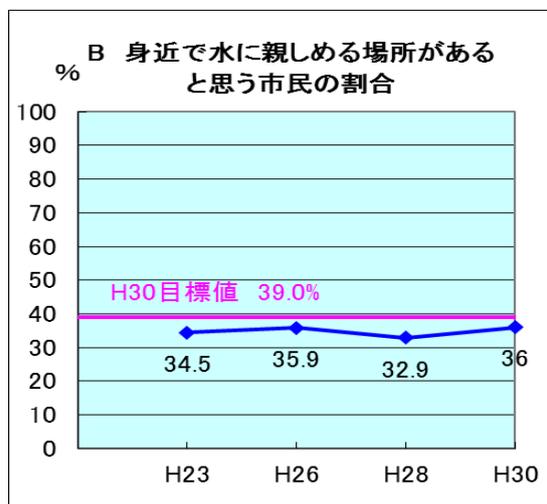
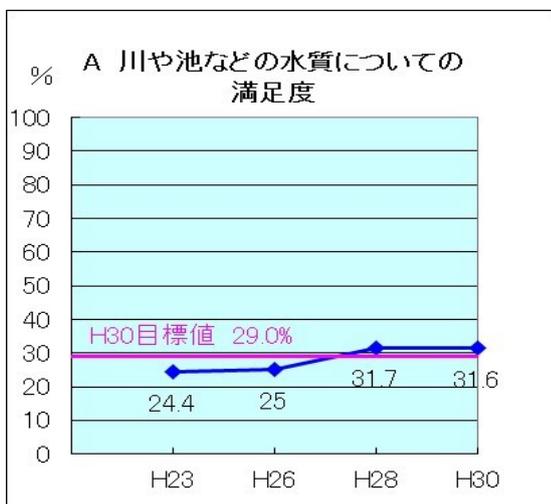
判断する基準		単位	H24実績	傾向	H30実績	短期目標【H30】	
L1	環境共育講座数	講座	16	↑	55	23	★
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	↑	8	10	
L3	エコフェスタ参加団体数 (にっしんわいわいフェスティバル参加団体数)	団体	31	↑	23 (170)	35	★
L4	こどもエコクラブへの参加子ども数※ (環境まちづくりサポーターズ子ども会員数)	人	106 (-)	↑	13 (465)	210	★

※「こどもエコクラブへの参加子ども数」については減っていますが、市の方針としては環境教育への参加者数については環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

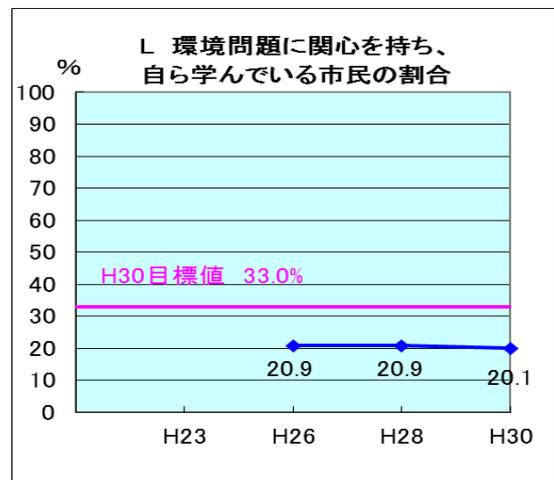
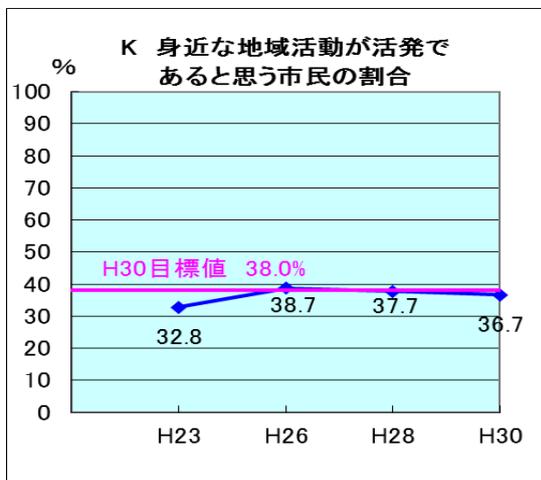
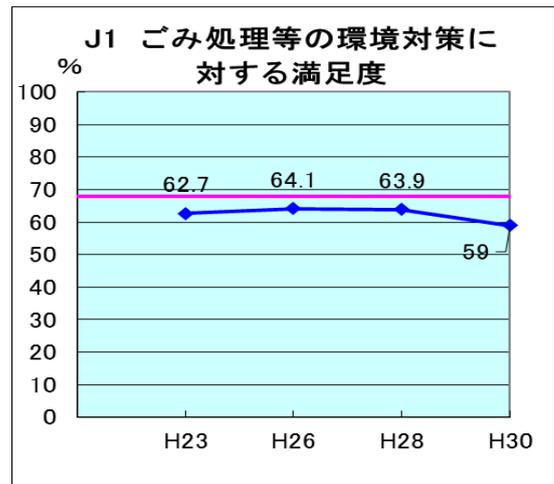
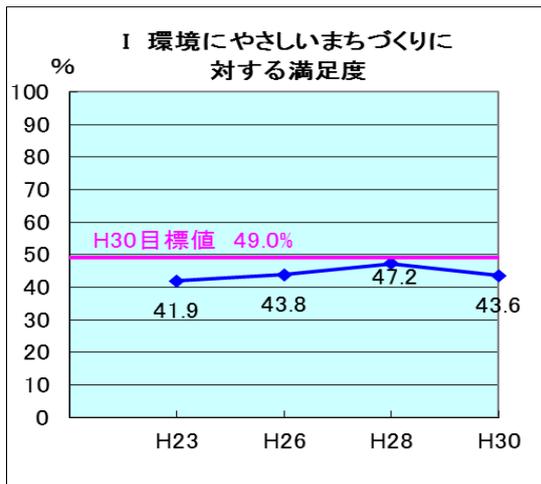
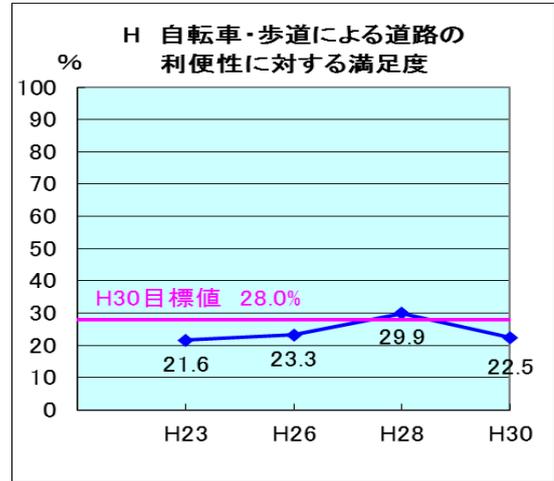
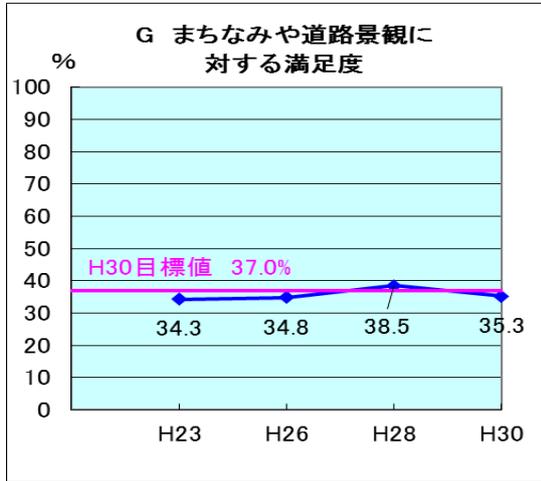
平成23年度からスタートした「第5次日進市総合計画(※)」に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、3年に一度を目安として行う調査です。(平成26年より2年に一度に変更)



※第5次日進市総合計画

平成23年から平成32年までの10年間を対象期間とした日進市のまちづくりについての計画。

1. 調査月	平成30年7月	4. 有効回収票	1,265票
2. 配布数	3,000票	5. 有効回収率	42.2%
3. 回収数	1,266票		



※LにH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わり比較ができないため、この項目に限りH26を基準値として取り扱っているためです。

令和元年度の取り組みを紹介します！

企業と連携した地球温暖化対策事業を実施しています。

日進市では、「日進市地球温暖化対策実行計画-区域施策編-」のもと、2023年度を目標年度として温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

家庭部門での温暖化対策の取り組みとして、企業と連携した講座を行いました。

あいち尾東農業協同組合と連携し、 緑のカーテン育成講座を開催

市内の緑化推進、身近な緑に触れ合える機会の創出を目的とし、「あいち森と緑づくり事業」による交付金を受けて実施しております。



東邦ガス ガスエネルギー館と連携し、 地球温暖化を学ぶ科学実験教室を開催

冷却実験を通して、地球温暖化の現状や環境に優しい行動について学ぶ講座を実施しました。夏休み子どもたちが多く参加しました。



パナソニックと連携し、 エコと太陽光発電教室を開催

環境に負荷の少ない自然エネルギーについて、太陽光の実験を通じて学びました。



シーピーセンター(株)と連携し、 親子でパソコン分解教室を開催

パソコンを実際に分解して、中にかくれているレアメタルや再利用可能な金属類を取り出しました。資源の再利用を学ぶことで、分別の大切さを学びました。



環境まちづくりパートナーシップ 団体

持続可能な社会をつくるしくみとして「にっしん環境まちづくりサポーターズ制度」を実施しています。

H29年度も、多くの企業の方から抽選会の景品を頂きましたのでご紹介します。

【協賛企業・団体一覧】

- ・(株)愛知銀行赤池支店
 - ・愛知信用金庫日進支店
 - ・(株)愛知ヤクルト工場
 - ・アクティオ(株)
 - ・荒川工業(株)
 - ・(株)大垣共立銀行ながくて支店
 - ・岡崎信用金庫東郷支店
 - ・木祖村
 - ・興亜商事株式会社
 - ・ユニックス(株)
 - ・(株)ジェイエルシー
 - ・(株)十六銀行赤池支店
 - ・瀬戸信用金庫日進支店
 - ・(株)タンガロイ
 - ・中部電力(株)天白営業所
 - ・(株)デンソー先端技術研究所
 - ・(株)東伸サービス
 - ・豊田信用金庫米野木支店
 - ・豊田信用金庫日進支店
 - ・(株)名古屋銀行日進支店
 - ・日進アシスト(株)
 - ・ハマダスポーツ企画(株)
 - ・(株)ビートソニック
 - ・碧海信用金庫東郷支店
 - ・(株)マーゼンプロダクツ
 - ・マズプロ電工(株)
 - ・マックスバリュ米野木店
 - ・三菱東京UFJ銀行日進支店
 - ・(株)山本工務店
 - ・ラフィューユ日進店
- (50音順)

【担当者のつぶやき】

「今ある地球の資源は、未来の世代から借りているのだ」という、ネイティブ・アメリカンの言葉があります。

私たちは、「今」を「未来」に渡していく存在であり、今を生きるすべての人々は、持続可能な未来を作り出す学びあいをし、意識や発想の転換をして社会を創っていく必要があります。

ESD(持続可能な開発のための教育)により、持続可能な社会を目指して、日ごろから今ある課題について学び、その中から「気づき」を生み出し、未来のために自分にできることを多くの人が実践していけると素敵なお世の中になるのではないのでしょうか。



日進市
NISSHIN

発行：日進市

市民生活部 環境課

住所：日進市蟹甲町池下268番地

電話：0561-73-2896

FAX：0561-72-4603

Email:kankyo@city.nisshin.lg.jp